

美術科学習指導案

日時 平成16年9月29日(水) 5校時
学級 3年4組(男子15名女子17名計32名)
授業者 教諭 白 沢 純 子

1 題材名 石彫[十五の心]～抽象的な表現～

2 教材について

(1) 教材感

てん刻の鈕(ちゅう)に、3年生15歳の心情を抽象的に表現しようという課題である。素材は光沢と透明感のあるやわらかい高麗石を用い、彫りやすく、彫刻刀やカッターナイフで十分彫れる。3年間の美術学習のまとめとして位置づけている題材のひとつである。

抽象的表現は目に見えるものにとらわれて、自分は美術が苦手と思っている生徒にとって、意欲を高め、楽しんで制作することができるので、これまでもたびたび取りあげてきた。それは、具象的な表現から離れることで自分の表現意図をより明確にさせ、受身ではない美術への挑戦の気持ちで、制作過程の楽しさを味わわせるのに適した題材であると考えからである。実際には深いテーマ性や余分なものをそぎ落としていくなどの思索も必要であり、生徒によってはかなり深められる題材でもある。

石彫に至る前には、彫塑 手を作る に取り組んでいる。今回の石彫は、それよりも小さな空間ではあるが、身に付けてきた基礎的・基本的な技法や材料体験を、自己の思いを表現する手段として積極的に活用できる。

また、自分を見つめ表現してみようとすることによって、他の人も同じような想いを持っていることに気づかせたい。自分も他の人も尊重できる環境が、のびのびとした表現活動をする上で必要であることも15歳という多感な時期に身につけて欲しい美術科の基礎・基本である。

(2) 生徒観

1年生で学んだ彫塑【手を造る】では、慎重な作業をする生徒が多かった。おおむね丁寧で、指導したことを忠実にやってみようとしていた。表現もまじめで、どちらかという目の前にあるものを描くほうが好き、できればあまり悩みたくない、と考える傾向がある。

作品鑑賞では ペーター・佐藤 の作品を、実際にパステルを作り、使ってみる、という体験を通して経験している。このときは自己評価によって自分の理解が深まっていることを自覚させた。作品の中に作者の描きたい気持ちがあり、パステルに出会うことで表現が180度変化し、生涯の中でいきがいとなっていたことなどに思いを馳せた生徒もある。

授業態度はまじめで、提出物などもきちんと揃う。のびのび振舞う男子とまじめな女子と言う印象があり、作品制作も順調に進める生徒とぎりぎりまでまとまらない生徒にわかれる。また現実的な考え方をする生徒も多く、ややこじんまりとまとまる傾向がある。一方男子生徒は、芸術系を得意とする生徒と、まったく関心がない生徒がはっきりしている。抽象表現のダイナミックな面白さを味わわせながら、アイデアスケッチやその後の作業が適切にできるよう支援していきたい。

3 わかる授業を行うための工夫・改善点

本校の研究主題「基礎・基本の確かな定着を図る指導方法の改善」をふまえ、美術科では研究主題を「個を生かし表現意欲を育てる指導はどうあればよいか」とした。表現意欲を高めるには、何をすればよいか「わかる」指導が大切であり、基礎・基本となる基礎知識(抽象について)表現技法(彫刻について)を身につけさせることが必要である。また、互いに認められる場面の設定も必要である。今回は鑑賞を交えながら、これらを実践していくこととする。

- (1) モダンテクニック・感性トレーニングなど段階をおって抽象表現に親しめる工夫をする。
- (2) 自分の主題を確認させる。
- (3) 自己表現の楽しさを感じながらアイデアスケッチ、制作ができる。
- (4) 参考作品や互いの作品の良さを感じ取り評価させる。(一斉、小グループ、個人)
- (5) 自己評価の工夫

4 題材の評価規準

題材の評価規準				
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
題材 彫刻 十五の心	主題について深く考え、自分自身の内面と向き合いながら抽象彫刻に取り組み最後まで制作することができる。	抽象彫刻の特徴や素材について理解し、主題にあった表現の工夫をすることができる。	彫刻に必要な用具の使い方や手順を理解し、工夫して彫りを進めることができる。	作品が表現している内容について理解し、作者の想いを感じ取ることができる。

5 指導計画

時間	学習活動	評価基準				評価方法
		関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1	発想のトレーニングから抽象表現の特徴を理解する	A楽しんで積極的に取り組んでいる。 B楽しんで取り組んでいる。	A感じたものを素直に出しながらも、どのように見えるか構成を考えている。 B感じたものをすなおに出すことができる。	A鉛筆の硬さや濃さ、定規など用具を工夫して使うことができる。 B線の強弱などを使い表現を工夫している。	A友達作品から、面白さや美しさを発見できる。 B友達作品から、テーマになったものを感じることができる。	観察 作品 自己評価
2	自分の心の中を振り返り、主題をきめる。	A中学校生活やこれからのことなど、真剣に考え、主題を決定できる。 B3年生の日常を振り返りながら、自分の心の中にある感情をまとめることができる。	A主題をひとつに絞りまとめることができる。 B主題を考え、決めることができる。			観察 制作カード
3 4	主題を表現するためのアイデアスケッチをする	A他の人の作品に関心を持ち、作者の意図がどのように表現されているか考えている。 B他の人の作品に関心を持ち、表現意図を感じ取ろうとしている。	A主題に合う形になるように積極的にアイデアスケッチに取り組んでいる。 B主題にあうアイデアスケッチを考えることができる。	A全体のバランスを考え工夫しながら、立体的に完成図を描くことができる。 B完成図を立体的に描くことができる。	A友達アイデアスケッチや作品から、面白さ、美しさを感じることができる。 B友達アイデアスケッチや作品をみて、立体の出来上がりの雰囲気がかかる。	観察 作品 自己評価
5 6	展開図を描き、石に転写する。			A展開図の描き方を理解し正しく描くことができる。 B展開図を描くことができた。		観察 作品 自己評価 相互評価

7 8 9 10 11 12	あら彫りから細部の彫りまで、用具の使い方を理解しながら制作をする。	A彫りの効果や出来上りを想像し楽しみながら制作することができる。 B完成を創造しながら楽しんで制作することができる	A彫りの手順を理解し立体的な構造を、つかんで進めることができる。 B彫りの手順を理解し展開図のとおり彫りに進めることができる。	A彫刻刀の種類や彫りの効果を考えて彫りを進めることができる。 B彫刻刀の使い方を理解し、安全に彫り進めることができる。		観察 作品 制作カード
13	作品鑑賞	A作者の想いや、工夫、個性などに思いを深くめぐらせることができる。 B作者の想いや工夫に思いをめぐらせることができる。			A完成や想像力を働かせて、自分の見方や感じ方で作者の想いや意図、表現の工夫を感じ取り、見方を深めている。 B仲間のよい点、工夫点を感じ取っている。	

6 本時の指導

(1) 主 題 作品鑑賞しアイデアスケッチを進める。

(2) 目 標 抽象彫刻の作品を鑑賞し、作者の想いがどこに現れているか感じ取り、自己の作品の工夫点をさぐる。

観 点	具体の評価規準（評価方法）		
	A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	努力を要すると判断される生徒への具体的な手立て
美術への関心・意欲・態度	他の人の作品に関心を持ち、作者の意図がどのように表現されているか考えている。 （観察、自己評価）	他の人の作品に関心を持ち、表現意図を感じ取ろうとしている。 （観察、自己評価）	小グループで観点に基づいて話し合い、気づかせる。
発想・構想の能力	主題に合う形になるように積極的にアイデアスケッチに取り組んでいる。 （観察、制作カード）	主題にあうアイデアスケッチを考えることができる。 （観察、制作カード）	作品鑑賞 期間巡視
鑑賞の能力	友達のアイデアスケッチや作品から、面白さ、美しさを深く感じることができる。 （鑑賞カード）	友達のアイデアスケッチや作品をみて、立体の出来上がりの雰囲気わかり、面白さを感じ取ることができる。 （鑑賞カード）	一斉指導の中で友達の発表を聞き、気づかせる。 プリントや個別指導で観点を与えて気づかせる。

(3) 構 想

本時は、前回までに自分で決めた主題に基づいて制作しているアイデアスケッチをもとに、中学生や作家の作品の鑑賞をとおして、さらにより表現はないかに気づかせる活動を行う。

より作品を身近に感じるための工夫として、

3～4人の小グループをつくり、作品を囲んで話し合うなど学習形態を工夫する。

ビデオカメラを使用し拡大するなど、作品のよさがどの生徒にも見えるよう配慮する。

自己評価カード、鑑賞カードで観点をはっきりさせる。

などを工夫し、鑑賞が苦手な生徒に支援していきたい。

(4) 本時の展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	学 習 形 態
導 入 5 分	<p>1 あいさつ 前時までの学習で、どこで行き詰っていたか、あるいは面白かったか想起する。</p> <p>2 課題の確認</p>	<p>1 前時カードを見て確認する。</p> <p>2 学習課題を確認することができたか〔関〕</p>	<p>一斉・個</p> <p>個・一斉</p>
<p>作品鑑賞をとおして、思いを表現する抽象のおもしろさを見つけてみよう。 抽象はムズかしいか!?</p>			
展 開 35 分	<p>3 スクリーンに生徒作品を映し出し、どんな生徒が作ったものか、説明する。</p> <p>4 4人グループで班を作り、生徒作品の写真をみて、感じたこと、気がついたことを出し合う。 (鑑賞カード)</p> <p>5 感想を発表 主題がどこに表現されていると思うか (自己評価カード)</p> <p>6 作家の抽象作品から、面白さを感じる部分を映像を見ながら発表させる。 (鑑賞カード)</p> <p>7 生徒のアイデアスケッチをスクリーンで見せる。</p> <p>8 自己評価カードに感想をまとめる。</p>	<p>同じ年齢の生徒が作ったものへの関心を高め、自分をどのように見つめていたか、気づかせるようにする。</p> <p>拡大コピーでどんな部分にこだわっているか、形や彫りあと、磨きの丁寧さなど、思い入れを感じさせたい。 また、ストレートに感情が表れている部分を見出させる。</p> <p>藁谷先生(陸上競技場)</p> <p>もっとも身近な仲間の認め合い</p> <p>時間をとり、自分のアイデアスケッチに向き合わせ、手直しやメモ書きが出来るようにする。</p>	<p>一斉</p> <p>小グループ</p> <p>一斉</p> <p>個・一斉</p> <p>一斉</p> <p>個 期間巡視</p>
終 末 5 分	<p>9 次時の予告</p>	<p>展開図に入る前に作品を高める手直しをしておく、彫りが楽しくなることを印象付ける</p>	<p>一斉</p>

十五の心

抽象ってむずかしい？

鑑賞をとおして、抽象への理解を深めよう。

3年組 番氏名

1	作品を見て、どんなことを表現しようとしていましたか？		自己評価
1	作者の想いを聞いた後、どう思いましたか？		
2	作品A		作品B
		形や表面の感じを比べて気がついたこと	
		どんなことを表現していると思っただか	
	作者の想いを聞いた後、どう思いましたか？		
3	なるほどなあと思ったところはどんなところですか？		
4	抽象的な表現のよさはどんなところだと思いましたか？		授業全体